

令和5年度 特別の教育課程の効果検証の結果

上尾市立富士見小学校

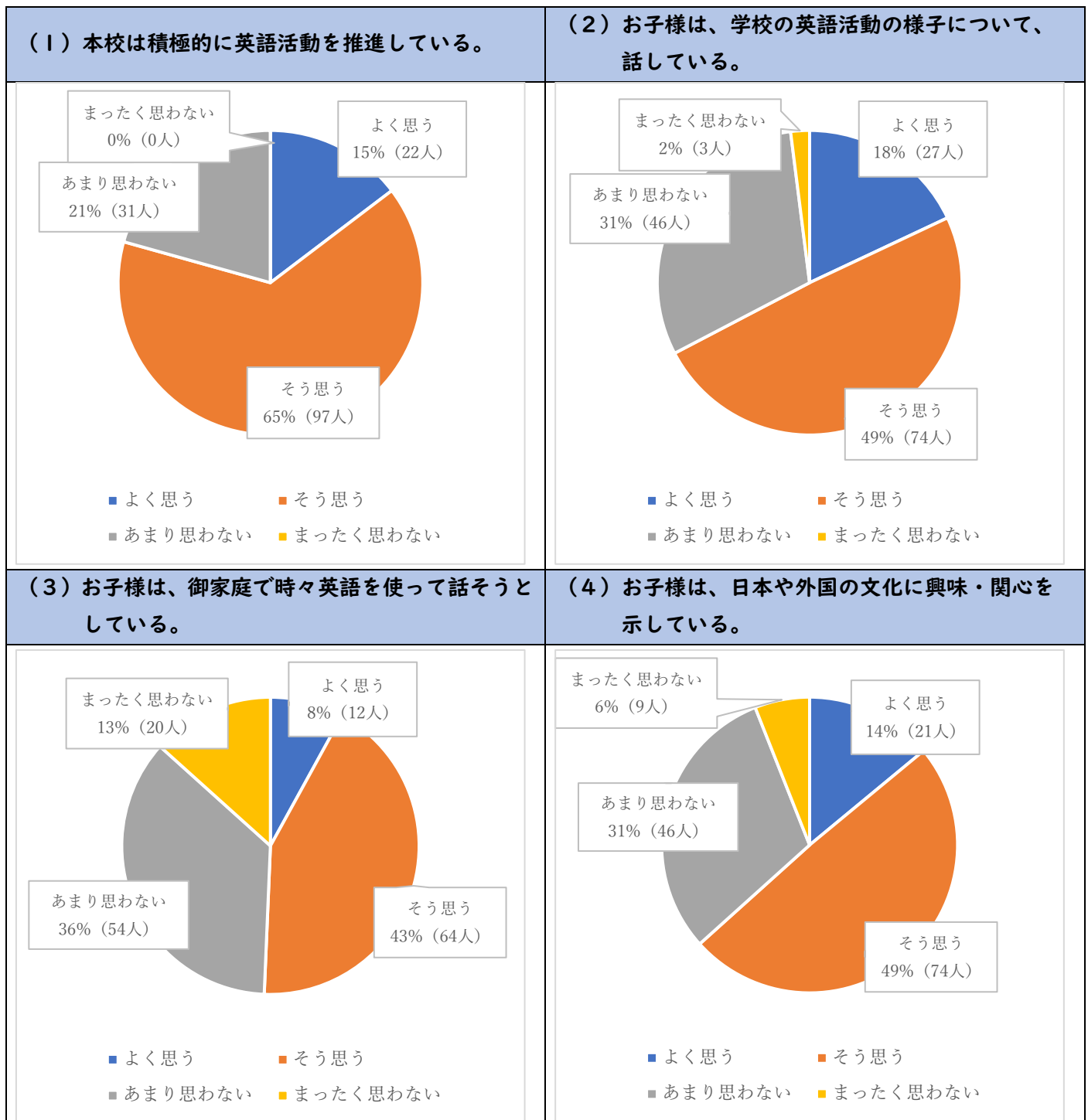
校長 吉田 充

上尾市内全小学校では、文部科学省の指定を受け、令和2年度より教育課程特例校における特別の教育課程を実施しております。1年生は年間34時間、2年生は年間35時間、生活科の時間を削減し、英語活動の実施を通して、児童のコミュニケーション能力を育成してまいりました。

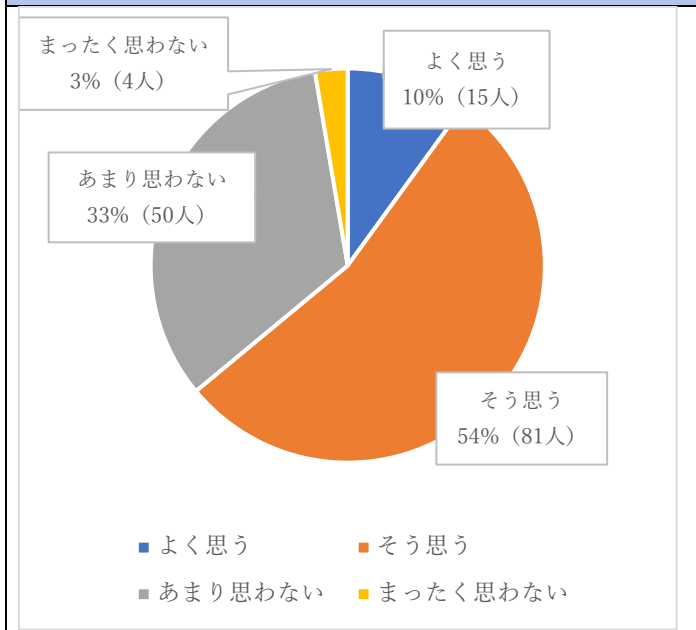
令和5年度の効果の検証の結果がまとまりましたので公表いたします。

アンケート調査実施日 : 令和6年2月14日～2月29日

アンケート回答者 : 第1、2学年保護者(150名)



(5) 本校の英語活動は、お子様のコミュニケーション能力の育成に役立っている。



(6) 本校の英語活動についての意見 (○：良かった点 △：要望や改善点、意見など)

- 何より楽しむ事ができていて、今後英語嫌いになりたくない、良い環境作りができていていると思います。
- 英語の習い事もさせていますが、それも含め、現時点で英語力が上がっていると実感はできていませんが、まだ小学生なので、無理に詰め込むのではなく、英語を使うことを楽しめていて、とても良い時間を過ごせていると感じています。
- 英語の授業があった日は帰ってきてから英語でこんな遊びをした、とよく話してくれます。覚えたワンフレーズを会話の中で使ったりもしていて、楽しく英語を吸収しているように見えます。
- 普段授業の事は話さない子ですが、英語の授業の内容はよく話してくれます。
- 英語について小学校でしか学習していないのでありがたく思っています。
- 覚えたフレーズを適切な場面で使ったり、ALT から教わった外国の文化を共有したりと学校での活動を家でも実践したり更に興味を持って知りがっているのが、今の英語活動が充実したものなのだと思います。同時に生活科の授業を削減したことによる影響がとても気になります。
- △我が家の子は海外について漠然とした印象しかないので、食事のときに日本では箸をよく使うが、外国ではフォークをよく使用するなど、日本と海外での文化やマナーの違いなども教えて頂けるともっと興味を持つようになると思います。
- △どういった活動をしているかあまり見えてこないです
- △小学校での英語学習が、中学校で本格的に英語を学ぶ前の適切な準備となることを期待します。
- △まだ低学年な為、授業というより楽しむ時間だと思っておりますが、出来れば学校からも指導内容、目標など発信して頂けたら幸いです。
- △子供が興味をもつ様に楽しく、歌や挨拶、自己紹介などができてほしいと思う。
- △もっと英語活動の時間や機会を取り入れて欲しい。
- △何をやってるかわからない
- △教科書もなく宿題もないので授業でどのような内容をしているのか把握がしづらく会話にも発展しにくいですが、英語の歌で楽しく英語に親しむことはとてもいいことなのでどんどん耳を慣らして発音させてほしいと思います。
- △生活は、「生きるための活動」で、人を育てる大切な授業だと思うので、授業数を削るのは、あまり賛成出来ません。例えば、生活の授業を英語でやるなどの方が、実践的な英語が学べて良いと思います。
- △英語を学習の目的でなく、手段として使う意識、機会を増やしてほしい。

△上尾市全体で、英語教育にもっと力を入れて本格的な英語授業を行って欲しいです。

△大人が英語を学ぶ場合にも当てはまる事ですが、覚えても使う機会がないとすぐ忘れてしまうので、日常的に使う機会があると良いなと思います。

△英語の授業内容がよくわからない。

△今後、英語はますます重要になると思いますので、引き続きよろしく願いいたします。

△子供から話す機会もない為、又学校からもどのように進めているのかも発信がないので、正直よく分かり兼ねます。

△頭が柔らかい今、とにかく単語を教えて語彙を増やすのがいいと思います